

施策の評価シート（令和5年度分）

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計	目標	04 心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08 持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040821
		施策	21 安全な水の安定供給	本冊ページ	71
	関連個別計画		第2次津市水道事業基本計画		
	担当部局		上下水道事業局		
施策の内容(番号)		067 ~ 069			

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番 号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価	今後の方向性	担当課
		選択区分	選択区分	
067	小規模な水道施設の統廃合をできる限り行い、県営水道を活用しながら、効率的な施設の更新、耐震化を進めます。	B	①	水道工務課 /水道施設課
068	水道施設を健全な状態で次世代へ引継ぎ、世代間の負担が公平となるよう、さらなる経営基盤の強化に取り組みます。	B	①	水道工務課
069	定期的な水質検査の実施により、水質の汚濁を防止し、清浄な水を確保します。	A	①	水道施設課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の 総合評価を 根拠とした 「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A	計画通りに基幹管路の耐震化事業及び老朽管の更新事業並びに水道施設整備工事を行うとともに、定期的な水道・工業用水道の水質検査を継続して計画どおりに実施し、安全な水の安定供給を行いました。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	B	A				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和5年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり			
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備		管理コード	040821067
		施策	21	安全な水の安定供給		本冊ページ	71
	関連個別計画		第2次津市水道事業基本計画(平成30年度～令和9年度)				
	担当部局		上下水道事業局				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		067	小規模な水道施設の統廃合をできる限り行い、県営水道を活用しながら、効率的な施設の更新、耐震化を進めます。				

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の 振り返りとこれから (実施評価、事業評価、 今後の方向性を選んだ理由)
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
	誰		誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価		
	担当課		何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
067-1	建設改良事業	水道管路の整備工事	効	持続する水道を目的とし、水道利用者に安全で良質な水道水を安定供給し続ける	◆ 第2次津市水道事業基本計画(H30～R9)10年間に に基づき、基幹管路耐震化事業及び老朽管更新事業を行う。 ・全体管路計画延長 L=110.7km ・基幹管路計画延長 L=12.7km ・その他管路計画延長 L=98.0km	○	管路全体において、概ね計画通り、整備が行われている。今後も第2次津市水道事業基本計画に基づき計画的に管路更新を行っていく。 整備延長(率)令和5年度末 ・全体管路 L=86.5km(78.1%) ・基幹管路 L=8.6km(67.7%) ・その他管路 L=77.9km(79.5%)
	誰		水道利用者	◇ 管路整備延長(率)	○		
	水道工務課		何	安全・安心でおいしい水の安定供給が受けられる	2,628,771 (千円)	現状維持	
067-2	建設改良事業	水道施設整備工事等	効	水道水の安定供給	◆ 第2次津市水道事業基本計画に基づき水道施設整備工事等を14件行う	○	当初の計画どおり事業を実施し、設備の更新率は74.1%。今後の水需要減少を踏まえ、適正な施設規模への見直しを図るとともに、自己水源と県水受水の最適なバランスを検討し、安定した水源の確保に努める。
	誰		使用者が	◇ 設備の更新率	○		
	水道施設課		何	安心、安全でおいしい水の安定供給が受けられる	264,625 (千円)	現状維持	
067-3			効		◆		
	誰			◇			
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和5年度分)

067-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
067-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
067-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
067-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上～100%未満) △=計画を下回った(50%以上～80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	区分	選択区分
	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

今後の施策の内容の方向性	区分	選択区分
	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B	B				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和5年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり			
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備		管理コード	040821068
		施策	21	安全な水の安定供給		本冊ページ	71
	関連個別計画		第2次津市水道事業基本計画(平成30年度～令和9年度)				
	担当部局		上下水道事業局				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		068	水道施設を健全な状態で次世代へ引継ぎ、世代間の負担が公平となるよう、さらなる経営基盤の強化に取り組みます。				

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の 振り返りとこれから (実施評価、事業評価、 今後の方向性を選んだ理由)
			効	事業の実施により 直接的に表れる効果	◆ 当初の 事業実施計画	実施 評価	
	誰		誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業 評価		
	担当課		何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の 方向性	
068-1	建設改良 事業	水道管路の整備 工事	効	持続する水道を目的とし、水道利用者に安全で良質な水道水を安定供給し続ける	◆ 第2次津市水道事業基本計画(H30～R9)10年間に 基づき、基幹管路耐震化事業及び老朽管更新事業を行う。 ・全体管路計画延長 L=110.7km ・基幹管路計画延長 L=12.7km ・その他管路計画延長 L=98.0km	○	管路全体において、概ね計画通り、整備が行われている。今後も第2次津市水道事業基本計画に基づき計画的に管路更新を行っていく。 整備延長(率)令和5年度末 ・全体管路 L=86.5km(78.1%) ・基幹管路 L=8.6km(67.7%) ・その他管路 L=77.9km(79.5%)
	誰		水道利用者	◇ 管路整備延長(率)	○		
	水道工務課		何	安全・安心でおいしい水の安定供給が受けられる	2,628,771 (千円)	現状維持	
068-2			効		◆		
	誰			◇			
			何		(千円)		
068-3			効		◆		
	誰			◇			
			何		(千円)		
068-4			効		◆		
	誰			◇			
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和5年度分)

068-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
068-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
068-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
068-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
068-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上～100%未満) △=計画を下回った(50%以上～80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	区分	選択区分
	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

今後の施策の内容の方向性	区分	選択区分
	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B	B				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和5年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり			
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040821069	
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ	71	
	関連個別計画		第2次津市水道事業基本計画(平成30年度～令和9年度)				
	担当部局		上下水道事業局				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		069	定期的な水質検査の実施により、水質の汚濁を防止し、清浄な水を確保します。				

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
069-1	工業用水道事業会計	工業用水道の水質検査	効	工業用水道の安定供給	◆ 第2次津市水道事業基本計画	○	工業用水道事業に係る水質検査業務委託により、5項目12回の検査を実施した。今後も継続して計画どおり検査を行う。
			誰	使用者	◇ 水質検査の実施率	◎	
	水道施設課		何	工業用水道の安定供給を受ける	698 (千円)	現状維持	
069-2	水道事業会計	水道水の水質検査	効	安心・安全でおいしい水の安定供給	◆ 第2次津市水道事業基本計画	○	水質検査計画に基づき、給水栓51箇所について12回検査を実施した。今後も継続して計画どおり検査を行う。
			誰	使用者	◇ 水質検査の実施率	◎	
	水道施設課		何	安心、安全でおいしい水の安定供給が受けられる	41,971 (千円)	現状維持	
069-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
069-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
069-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和5年度分)

069-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
069-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
069-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
069-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
069-10			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上～100%未満) △=計画を下回った(50%以上～80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	B	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

